

平成23年度 三鷹市総合防災訓練 日程と会場

メイン会場 9月1日(木)東部地区

会場：高山小学校
時間：午前10時30分～午後0時30分
主催：三鷹市東部住区防災連合会、三鷹市



〈参加・協力団体〉

三鷹警察署、三鷹消防署、三鷹市消防団、多摩府中保健所、三鷹市赤十字奉仕団、NTT東日本-東京、東京ガス、三鷹市医師会、東京都三鷹市歯科医師会、三鷹市薬剤師会、三鷹市接骨師会、三鷹市助産師会、三鷹商工会、三鷹市建設業協会、三鷹市管工事業協同組合、東京都自動車整備振興会、三鷹市社会福祉協議会、東京都獣医師会、東京ココロラボトリング、武蔵野三鷹ケーブルテレビ、三鷹市東部地域包括支援センター、三鷹市障がい者福祉懇談会、サカイ・ヘルスケア

煙ハウス体験
火災時に発生する煙の影響を体験しましょう。



起震車体験
大地震の揺れを実際に体験しましょう。



初期消火体験
訓練用の消火器を使い、消火を体験しましょう。



応急手当体験
三角巾の使い方や止血法を学びましょう。



避難所体験
避難所の様子や災害対策用備蓄品を確認しましょう。



医療救護所体験
災害時の医療救護活動を体験しましょう。



ご存じですか？ 災害時医療救護体制

—診療所を閉院し、災害時医療救護所と病院に医療を集中！—

市内で震度6弱以上の地震が発生した場合、限られた医療スタッフや医薬品を最大限に活用し、効率的な医療活動を行うため、市内7カ所の災害時医療救護所と8カ所の病院に医師や看護師などが集まり、医療活動に従事します(診療所は閉院します)。

命に関わる重傷者は病院へ、それ以外の方は最寄りの医療救護所で治療を受けてください。

☒災害時医療救護所 五小・大沢台小・高山小・南浦小・中原小・井口小・四中(※)

☒医療拠点(病院)

厚生会病院・武蔵野病院・三鷹病院・篠原病院・野村病院・井之頭病院・三鷹中央病院・長谷川病院
☒杏林大学病院は東京都の災害拠点病院に指定されるとともに、市の後方医療施設として位置付けられています。



8月28日(日)駅前地区

会場：第四小学校
時間：午前10時～正午
主催：駅前地区自主防災連合会、三鷹市

9月1日(木)西部地区

会場：第二中学校
時間：午前10時～正午
主催：三鷹市西部地区住民協議会、三鷹市

9月1日(木)大沢地区

会場：第七中学校
時間：午後1時～3時
主催：大沢地域防災対策本部、三鷹市

9月3日(土)連雀地区

会場：第六小学校
時間：午前9時～11時
主催：連雀地区住民協議会・防災対策特別委員会、三鷹市

9月4日(日)井の頭地区

会場：井の頭コミュニティセンター
時間：午前10時～午後0時50分
主催：三鷹市井の頭地区住民協議会、三鷹市

9月11日(日)新川中原地区

会場：新川あおやぎ公園ほか
時間：午前10時～11時30分
主催：新川中原地区災害対策連合会、三鷹市

防災無線を地区ごとに放送します

各地区の防災訓練の日時が異なるため、訓練に関する防災無線の放送は、訓練日時に合わせて地区ごとに行います。隣接する地区の放送が聞こえることもあります。ご了承ください。

第三小学校の建て替え工事に伴い、一時避難場所・災害時医療救護所を一時変更します

平成25年3月(予定)までの建て替え工事期間中、第三小学校の一時避難場所と災害時医療救護所の指定を解除し、災害時には第四中学校に医療救護所を設置します。



本事業の基本設計の概要について、施設の各階ごとの平面図を掲載し、施設の特徴などを紹介します。今号は1階の概要をお知らせします。
☒都市再生推進本部事務局☒内線2052

事業概要

市民のみなさんの安全安心と市民サービスの向上を図るため、市役所東側の東京多摩青果(株)三鷹市場跡地を中心とした約2.0haに、災害時の一時避難場所となる防災公園と、健康・スポーツ施設、老朽化し耐震性に課題のある公共施設を集約化した多機能複合施設を整備します。事業の推進に当たっては、独立行政法人都市再生機構の防災公園街区整備事業として国庫補助金を活用するなど財政負担の軽減を図り、早急な整備を目指します。

◆1階の概要

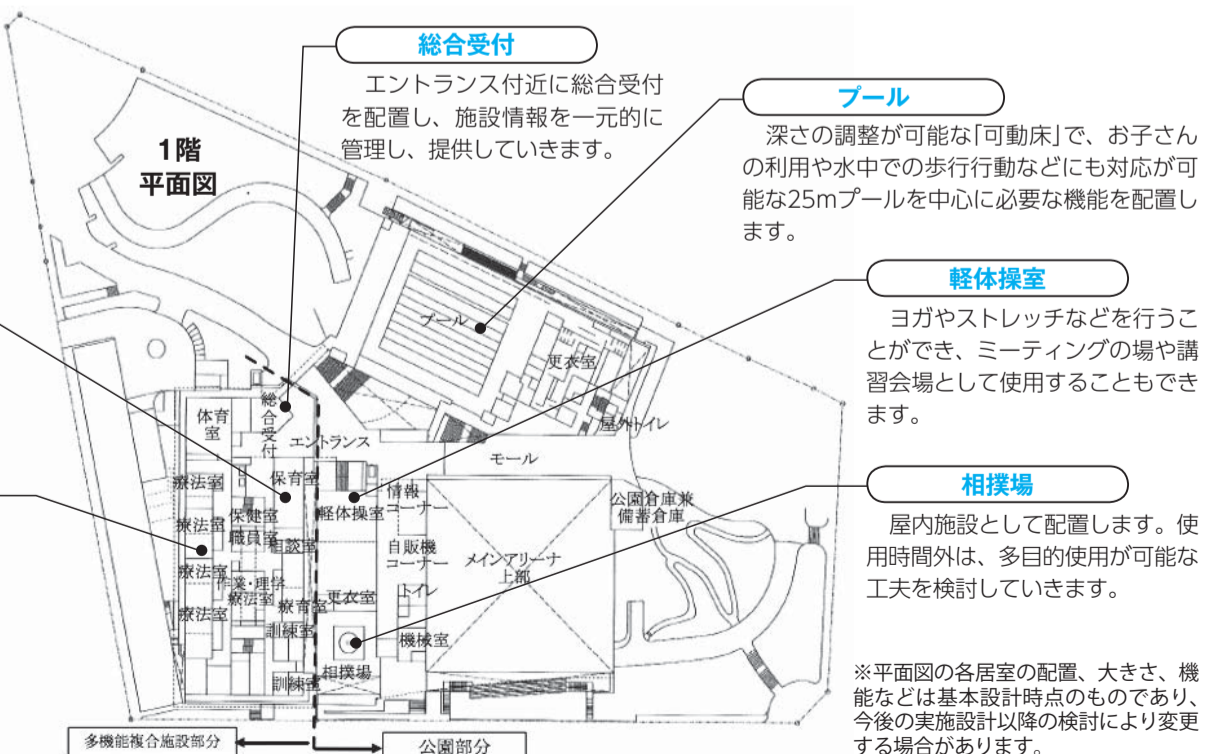
1階には、エントランスを通り、東側の公園部分にプール、軽体操室などのスポーツ施設を配置します。また、西側の多機能複合施設部分に北野ハピネスセンターの障がい児部門を移転・集約するほか、施設の総合受付、保育室を配置します。なお、スポーツ施設については、井口地区に計画していた総合スポーツセンター(仮称)の競技空間の面積をおおむね確保しています。

保育室

これまでの社会教育会館の保育室の機能に加え、施設全体の共用の保育室としても運用していきます。運用方法などは今後、さらに検討していきます。

ハピネスセンター(相談室、療育室、訓練室、療法室、体育室など)

北野ハピネスセンターで行っている障がい児部門の各種相談、療育、指導、訓練などの事業を移転するとともに、集約化する施設との連携や関係機関などとの連携を進め、対象年齢を拡大し、子どもの発育・発達に関する専門支援を行う中核施設として運営していきます。お子さんや保護者の方々が安心して施設を利用できるよう、プライバシーとセキュリティ、バリアフリーなどに配慮した設計を進めていきます。



総合受付

エントランス付近に総合受付を配置し、施設情報を一元的に管理し、提供していきます。

プール

深さの調整が可能な「可動床」で、お子さんの利用や水中での歩行行動などにも対応可能な25mプールを中心に必要な機能を配置します。

軽体操室

ヨガやストレッチなどを行うことができ、ミーティングの場や講習会場として使用することもできます。

相撲場

屋内施設として配置します。使用時間外は、多目的使用が可能な工夫を検討していきます。

※平面図の各居室の配置、大きさ、機能などは基本設計時点のものであり、今後の実施設計以降の検討により変更する場合があります。